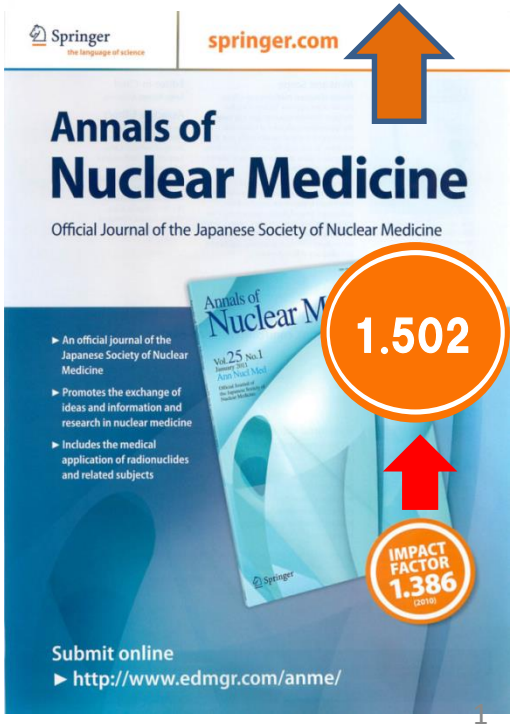
オープンアクセス化に向けた国際情報発信強化のための出版事業刷新とプロモーション促進

日本核医学会　Annals of Nuclear Medicine

国際情報発信強化

1.677



JSPS 独立行政法人 日本学術振興会
Japan Society for the Promotion of Science

科研費
KAKENHI

ゴールドOA化への基盤形成【年次計画】

H25 H26 H27 H28 H29

OA化準備期間 → 中間評価 → 学会補助によるOA化開始

プロモーション活動
- 欧米・アジアへのプロモーション活動強化
- 日本放射線学会との海外共同プロモーション
- 論文の韓国語訳による韓国へのﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ

紙面改革
- 論文ページ数の削減し、著者負担の軽減
- ﾍﾟｰﾊﾟﾚｽ化の補助的取組

学会出版事業内容刷新
- 英文誌 [ANN]のペーパレス化
- 和文誌 [核医学]分割化
- 和文誌 [核医学]の論文部分のJ-Stage化

国際誌としての質の向上
- 言語エディター費用の学会補助
- 統計ｴﾃﾞｨﾀ選任 → 統計エディターによるチェック

OA化への取組
- 機関リポジトリへの登録（グリーンOA）推奨
- Editor's choice による試験的OA化

審査・編集の国際化強化
- （海外の視点から見た）定期的な雑誌改善点・雑誌の特色に関するヒアリングの実施
- 海外編集委員・海外査読者の登録推進

出版事業収支バランスの中間チェック

【目標】投稿数・海外査読数・ダウンロード数 10%アップ

	H23年		H27年
投稿数	338件	⇨	450件
海外査読数	77件	⇨	100件
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ数	48千件	⇨	63千件

インパクトファクタ② 超

収支バランス最終チェック、改善点模索

① プロモーション活動強化

プロモーション活動

- 欧米・アジアへのプロモーション活動強化
- 日本放射線学会との海外共同プロモーション

1. 国際学会におけるプロモーション

- 米国核医学会年次総会（H26~28年）、欧州核医学会年次総会（H25~28年）、世界核医学会（H26年、4年毎）、アジア・オセアニア核医学会議（H27年、2年毎）

2. 他学会との雑誌連携

- H25年以前　欧州核医学会、韓国核医学会
- H25年以降　日本医学放射線学会、アジア・オセアニア核医学会、韓国放射線学会、中国核医学会
- 交渉中　世界核医学会、インド核医学会
- H28年より欧州核医学会、中国核医学会との論文相互紹介開始

InCites™ Journal Citation Reports®

Year	Total Cites Graph	Journal Impact Factor Graph	Impact Factor Without Journal Self Cites Graph
2015	1,786	1.467	1.347
2014	1,803	1.677	1.579
2013	1,586	1.507	1.366
2012	1,403	1.410	1.285
2011	1,354	1.502	1.352
2010	1,223	1.386	1.252
2009	1,016	0.917	0.807
2008	930	1.099	0.975
2007	806	0.987	0.903
2006	701	0.779	0.649
2005	583	0.763	0.593
2004	570	0.790	0.652
2003	471	0.745	0.579
2002	371	0.561	0.421
2001	342	0.503	0.427

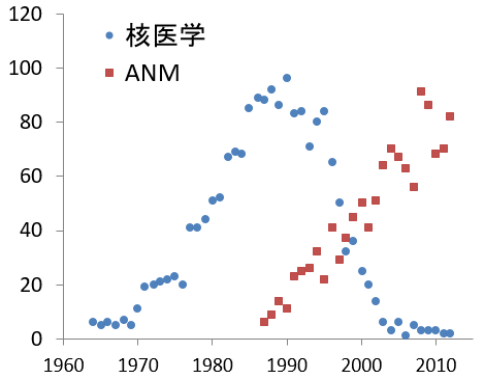
Citing Journal Data

	Impact	Cited Journal	All Yrs
1		ALL Journals	3,015
2		ALL OTHERS (461)	461
3	5.849	J NUCL MED	371
4	5.537	EUR J NUCL MED MOL I	214
5	1.467	ANN NUCL MED	113
6	1.453	NUCL MED COMMUN	68
7	2.929	J NUCL CARDIOL	58
8	4.278	CLIN NUCL MED	50
9	20.982	J CLIN ONCOL	44
10	4.495	INT J RADIAT ONCOL	43
11	5.649	CANCER-AM CANCER S…	38
12	2.660	AM J ROENTGENOL	34
13	2.811	PHYS MED BIOL	34
14	2.429	NUCL MED BIOL	32
15	8.738	CLIN CANCER RES	30
16	6.798	RADIOLOGY	30

② 誌面改革・出版事業内容刷新

紙面改革
- 論文ページ数の削減し、著者負担の軽減
- ﾍﾟｰﾊﾟﾚｽ化の補助的取組

学会出版事業内容刷新
- 英文誌 [ANN]のペーパレス化
- 和文誌 [核医学]分割化
- 和文誌 [核医学]の論文部分のJ-Stage化



1. ANM誌ペーパレス化（冊子体会員配布廃止）
- H28年（2016年1号から）開始

2. 和文誌（核医学）の合理化
- 論文・研究会抄録等学術記事 → J-stageでのOA化
- 会報等 → ニュースレター化
  H28年より開始

核医学 日本核医学会機関誌 日本核医学会

出版経費削減

- プロモーション活動原資
- 学会補助によるOA化への取組
- 超過ページ代金の排除、英文校正経費の学会負担による投稿呼び込み

③ 審査の国際化・高度化

国際誌としての質の向上
- 言語エディター費用の学会補助
- 統計エディタ選任 → 統計エディターによるチェック

審査・編集の国際化強化
- (海外の視点から見た) 定期的な雑誌改善点・雑誌の特色に関するヒアリングの実施
- 海外編集委員・海外査読者の登録推進

Language Editor

John Gelblum, Kanazawa

Statistical Editor

Satoshi Morita, Kyoto

1. 言語エディタ、統計エディタの選任

- 学会経費によるエディティング

2. 審査・編集の国際化強化

- Associate editor（AE)増員（11名→26名）による詳細な論文審査
- 技術的分野選任、分子イメージング分野選任AEの追加
- 海外AEによる論文審査
- 欧州核医学会における編集者会議への出席と情報収集
- Editorial boardのアクティブメンバーへの改組と海外研究者増強
- 海外研究者による査読論文数30%増加

④　OA化への取組

OA化への取組

機関リポジトリへの登録（グリーンOA）推奨

Editor’s choice による試験的OA化

現状で完全OA化に移行するリスク

当該分野主要雑誌のOA化事例がなく、APC設定による投稿敬遠の危惧

1．グリーンOA推奨

・　会報とHPを通じた推奨

2．Editor’s choiceによるOA論文選定

・　H26年より開始、H26年8編、H27年12編を選定

・　学会設定ガイドラインのOA化

修正すべき点

- AE間の審査基準のばらつき

  新規AEは甘い傾向にある

  編集委員会で喚起、AE毎の採択率・審査内容開示
- 審査厳しくなったことによる投稿敬遠

  審査の甘い競合他紙への投稿
- AEの判断が遅い

  2nd , 3rd ・・・・revisionを求めすぎる

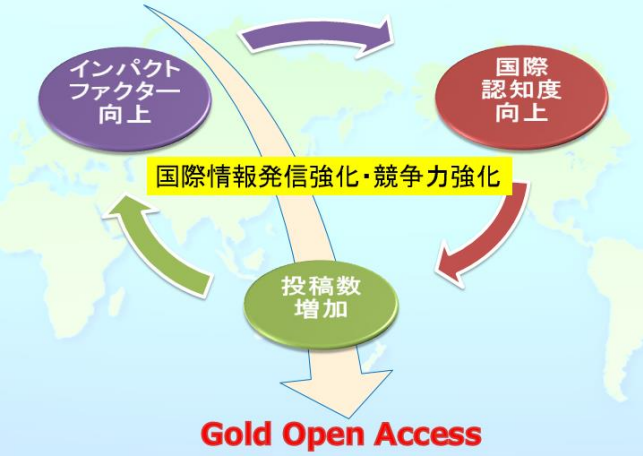
  1st revisionでAEに判断を求めているが・・・
- 海外へのプロモーション強化必要

  海外学会参加者がANMを知らないことが多々あり
- 完全なgold OAへ進むべきタイミング？？

今後の計画

ゴールドOA化には、さらなる国際的地位向上を

- プロモーション強化継続
- 海外他学会との連携拡大
- グリーンOA促進審査
- Editor’s choiceによるOA化強化
- OA化対策　APC部分学会補助によるOA化増強



学会出版事業のさらなる合理化

- 編集委員会のWEB会議化による経費削減と海外メンバーを含めた会議に
- ニュースレターへの広告募集外部委託(医学広告社)終了による収入増加